

令和6年度県民意識調査結果の概要

秋田県企画振興部

令和5年度から、新秋田元気創造プランに対応した調査項目により調査を実施している。

戦略別の平均満足度に着目して調査結果を見ると、戦略6（教育・人づくり戦略）が2.78で最も高く、戦略4（未来創造・地域社会）が2.15で最も低い結果であった。

戦略毎の概要は次のとおり。

※（ ）内は令和5年度の平均満足度

○戦略1（産業・雇用戦略）

平均満足度：2.31（2.60）

- ・「輸送機、新エネルギー、情報、医療分野等の成長分野への参入が進んでいる。」の満足度は2.53と戦略1の中では高評価。
- ・回答に当たっては、「ITや情報通信業を見た際に技術者が他県と比較して少なく、ICTを活用した生産性の向上は乏しいと感じる。」「洋上風力はもちろん、県内企業の技術がローカルのニュースで取り上げられているのを見かける。今後も（成長産業への）参入を続けてほしい。」などの意見あり。
- ・重要度は、「経営規模拡大や賃上げの取組への支援」が全項目中2番目に高い31.1%で、県民の関心が高く、取組の強化が求められているものと認識。

○戦略2（農林水産戦略）

平均満足度：2.51（2.74）

- ・満足度は、個別項目4項目中3項目で全体平均の2.47を超える評価。
- ・回答に当たっては、「担い手が頑張っているようだが、指導者が足りていないのではないかと感じている。」「各農家の得意とする野菜や果物などの優れている部分を前面に出し、民宿やレストランを続けてほしい。」などの意見あり。
- ・重要度は全体的に低いものの、「農林水産業の多様な担い手の確保」は14.3%と比較的高く、高齢化、後継者不足の状況を受け、従事者確保へのニーズが大きいものと認識。

○戦略3（観光・交流戦略）

平均満足度：2.60（2.78）

- ・「食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。」の満足度が3.07で、全項目中で最も高評価。
- ・回答に当たっては、「秋田の日本酒、発酵食品はいいと思う。米のイメージが強い秋田だからこそ、強みにしてほしい。」「あまり秋田の情報発信を見かけない。同じものしか発信しておらず、もっと多くのいいものがあると思う。」などの意見あり。
- ・重要度では、「鉄道や航空・地域交通などの整備」（18.0%）、「道路ネットワークの整備」（12.6%）が比較的高くなっており、交通や道路整備への関心が高いものと認識。

○戦略4（未来創造・地域社会戦略）

平均満足度：2.15(2.41)

- ・全体の満足度が全戦略で最も低く、また、「秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。」の満足度 1.61 は、全項目中で最も低評価。
- ・回答に当たっては、「テレワーク等ができる職業であつたり、秋田でしかできない農業だつたりがあれば移住は考えるだろうけれど、この賃金の低さでは、秋田に戻る人、移住する人が少ない気がする。」、「多様性に関しては、まだまだ偏見や忌避する言動態度も多く、開かれたとは言えないが、受け入れようとしている人たちも増えていると感じる。」などの意見あり。
- ・重要度は、「結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備」が全項目中で最も高く、回答者の 32.6% が選択しており、重要な課題と認識。

○戦略5（健康・医療・福祉戦略）

平均満足度：2.44(2.68)

- ・「県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、生きがいをもって元気に生活している。」の満足度は 2.66 と戦略5の中で最も高い。
- ・回答に当たっては、「健康づくりは、本人の意識も大切だが、市町村や医療機関等からの積極的な働きかけが大きく左右すると思う。」、「SOSを出せる場があるのは以前より周知されてきていると思うが、実際に辛い思いをした時に、そういう場に心から頼ることができるのか不安に思う。」などの意見あり。
- ・重要度は、「医療提供体制の整備」(22.8%)、「介護、福祉サービスの充実」(17.8%) が高くなっており、生活に身近な医療・介護・福祉サービスへの関心の高さを反映しているものと認識。

○戦略6（教育・人づくり戦略）

平均満足度：2.78(2.93)

- ・戦略全体の満足度が全戦略で最も高く、個別項目でも全て全体平均の 2.47 を超える評価。
- ・回答に当たっては、「小学校低学年から、ICTに関して教育できる環境を構築してほしい。」、「県内企業とのコラボなどで学生の活躍を目にすることが多く、良いと思う。」などの意見あり。
- ・重要度は、戦略6の中では「健やかな体や豊かな人間性を育む教育の充実」(5.2%) や「英語教育と国際教育の充実」(4.0%) が高く、更なる取組が求められているものと認識。

○選択・集中プロジェクトなど重点的に取り組む施策に関する項目

- ・満足度は、「県民生活の様々な場面において、『デジタル化』が進んでいる。」が 2.56 と高く、「県内の『賃金水準が向上』している。」と「『若者・女性の県内定着・回帰』が進んでいる。」が 1.65 と低評価。
- ・賃金水準について、本県と地方圏平均との格差は縮小傾向にあるものの、依然として格差があることなどが影響しているものと認識。